コーポレートファイナンス
第３回小テスト

学籍番号 _____　専攻名 _____　氏名 _____

問題

問 1. 以下の各文を読み、内容が正しければ（　　）の中○を、誤っていれば×を記入せよ。

1. 売掛金や在庫の増加は、営業活動によるキャッシュフローを増加させる要因になる（　　）
2. 成長過程にある企業は、積極的に設備投資等を行うために投資活動によるキャッシュフローがマイナスの値になる場合も少なくない（　　）
3. IRR（内部収益率）だけを投資判断基準にするとき、プロジェクトの IRR が WACC よりも大きければ、そのプロジェクトに投資する価値があると判断される（　　）
4. モジリアーニ・ミラーの理論では、税金や取引費用およびデフォルトの可能性がないという仮定の下で、企業の資金調達方法が企業価値に大きな影響を与えるという結論が得られる（　　）
5. 資産として現金を大量に保有している企業が株主へ利益還元する方法としては、配当支払いよりも自社株買いをする方が株主価値を高めるので望ましい（　　）

問 2. 企業の事業価値を求めるための一つの方法である DCF（割引キャッシュフロー）法に関する以下の問に答えよ。

1. DCF 法で必要となるフリーキャッシュフローの計算方法は本によって微妙に異なるが、以下のような数式で定義される場合に（　　）内に入る適当な用語を答えよ。

   フリーキャッシュフロー

   $= \text{事業利益} \times (1 - \text{税率}) + (\qquad\qquad) - (\qquad\qquad) - \text{運転資本の増加}$

2. 以下の条件の下で、WACC（加重平均資本コスト）を計算せよ。

   負債（時価）：100 億，株主資本（時価）：150 億，負債コスト：5%，
   株主資本コスト：20%，実効税率：40%

   （計算式）_____　WACC = _____ %

3. DCF 法によって企業の事業価値を算出する場合には、具体的にどのような計算をするのかを「フリーキャッシュフロー (FCF)」「WACC」という言葉を用いて簡潔に説明せよ。文章で表現しにくい場合は数式で説明してもよい。